

外部からの評価・イニシアティブへの賛同

ESGインデックス

これまでのESGへの取り組みが評価され、ESGインデックス銘柄に選定されています。

	<p>「MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)」 MSCI社により作成された性別多様性に優れた企業で構成されるインデックス。詳しくは、以下のページをご覧ください。</p> <p>MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)</p> <p>THE INCLUSION OF JAPAN POST BANK Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF JAPAN POST BANK Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.</p>
	<p>「Euronext Vigeo World 120 Index」 Euronext社（オランダ）とVigeo Eiris社（フランス）により開発されたインデックス。世界の企業のうちESGの観点で優れた上位120社で構成。詳しくは、以下のページをご覧ください。</p> <p>Euronext Vigeo World 120 Index</p>
	<p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index FTSE Russell社により構築された、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックス。セクター・ニュートラルとなるよう設計されており、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI（Transition Pathway Initiative）経営品質スコア*により改善の取組みが評価される企業のみを組み入れている。詳しくは、以下のページをご覧ください。</p> <p>*：企業の温室効果ガス排出量及び低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価するもの。</p> <p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p>
	<p>S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数 S&P社が選定する株式指数「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に、採用されています。環境情報の開示状況、炭素効率性（売上高当たり炭素排出量）の水準に着目したものです。詳しくは、以下のページをご覧ください。</p> <p>S&P カーボン・エフィシエント指数</p>

目次

トップメッセージ

サステナビリティ
マネジメント

重点課題とSDGs

環境

社会

ガバナンス

外部からの評価・
イニシアティブへの賛同

ESG関連情報

その他の外部評価

職場の働きやすさ、人権配慮、環境配慮などについて、各種評価を受けています。



プラチナくるみん

「子育てサポート企業」としてより高い水準の取り組みが評価され厚生労働省から2019年2月に認定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[くるみんマーク・プラチナくるみんマークについて](#)



トモニンマーク

「仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組む企業」として厚生労働省から認定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[「トモニン」を活用して、仕事と介護の両立支援の取組をアピールしましょう!](#)



えるぼし (3段階目)

「女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業」として評価され厚生労働省から認定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[女性活躍企業認定「えるぼし・プラチナえるぼし認定」](#)



令和3年度「なでしこ銘柄」

「女性活躍推進」に優れた上場企業として経済産業省、東京証券取引所から選定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[女性活躍に優れた上場企業を選定「なでしこ銘柄」](#)



「健康経営優良法人2022 (大規模法人部門) ホワイト500」

経済産業省、日本健康会議から優良な健康経営を実践している法人として認定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[健康経営優良法人認定制度](#)



「PRIDE指標」ゴールド

任意団体「work with Pride」による、職場におけるLGBTQ+などへの取り組みの評価指標において最高評価を獲得。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[PRIDE指標について](#)

目次

トップメッセージ

サステナビリティ
マネジメント

重点課題とSDGs

環境

社会

ガバナンス

外部からの評価・
イニシアティブへの賛同

ESG関連情報



日経「スマートワーク経営」調査 3.5星

働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する第5回日経「スマートワーク経営」調査において、3.5星に認定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[スマートワーク経営調査について](#)



日経「SDGs経営」調査 3.5星

環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対する企業としての姿勢と各社で展開するSDGsに関連するビジネスの内容を総合的に調査する第3回日経「SDGs経営」調査において、3.5星に認定。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[日経「SDGs経営」調査](#)

共働き子育てしやすい企業ランキング2022 第1位

日経xwoman DUALの調査「共働き子育てしやすい企業ランキング2022」において第1位を獲得。詳しくは、下記のページをご覧ください。

※：記事の全文をご覧いただく場合、日経xwoman会員登録（無料）が必要です

[上位32社を発表！ DUAL共働き子育てしやすい企業：日経xwoman \(nikkei.com\)](#)

女性が活躍する会社BEST100 総合9位 人材多様性度5位

日経WOMAN主催の「企業の女性活用度調査」において「女性が活躍する会社BEST100」で総合9位、人材多様性度5位。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[日経 WOMAN 2022年6月号 「女性が活躍する会社BEST100」](#)



建築物省エネルギー性能表示制度（BELS） 三ツ星

ゆうちょ銀行の一部施設は、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の三ツ星を取得。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[BELS](#)

大和インベスター・リレーションズ主催の2021年インターネットIR表彰において、「インターネットIR 優良賞」「サステナビリティ部門 優秀賞」を受賞。

大和インベスター・リレーションズ主催の2021年インターネットIR表彰において、ゆうちょ銀行のwebサイトは、特に優秀なIRサイトを構築し、情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用しているとして評価されました。

詳しくは、以下のページをご覧ください。

[大和インベスター・リレーションズ | Daiwa IR](#)

大和インベスター・リレーションズ
2021年インターネットIR

優良賞



大和インベスター・リレーションズ
2021年インターネットIR サステナビリティ部門

優秀賞



イニシアティブへの賛同

国際社会からの要請に応え、持続可能な社会の実現に貢献するため、さまざまなイニシアティブに参加・賛同しています。



未来のために、いま選ぼう。

COOL CHOICE（クールチョイス）への賛同

ゆうちょ銀行は、「COOL CHOICE」に賛同しています。「COOL CHOICE」は、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、政府（環境省）が推進する国民運動です。脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしているという取組です。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[COOL CHOICE](#)



TCFD提言への賛同・TCFDコンソーシアムへの参加

ゆうちょ銀行は、2019年4月、TCFD提言への賛同を表明しました。また、TCFD提言へ賛同する企業や金融機関等が一体となって取り組みを推進する「TCFDコンソーシアム」に参加しています。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[TCFD](#)

[TCFDコンソーシアム](#)



Capital as a Force For Goodへの協力

日本郵政株式会社および株式会社ゆうちょ銀行は、国際連合のプロジェクト「Capital as a Force For Good」に協力しています。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[Capital as a Force For Good](#)



PCAFへの加盟

ゆうちょ銀行は、2022年1月、投融資先のGHG排出量の測定・開示を標準化することを目的として2015年に発足した、国際イニシアティブ「Partnership for Carbon Accounting Financials（PCAF）」に加盟しました。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[PCAF](#)



CDPへの署名

ゆうちょ銀行は、2022年2月、世界の主要な機関投資家と連携して、企業の気候変動対応やGHG排出量に関する開示を推進する活動に取り組む、国際イニシアティブ「CDP」に署名しました。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[CDP](#)

目次

トップメッセージ

サステナビリティ
マネジメント

重点課題とSDGs

環境

社会

ガバナンス

外部からの評価・
イニシアティブへの賛同

ESG関連情報



GRESBの投資家メンバーへの加盟

ゆうちょ銀行は、2022年から、不動産会社やファンドのESGへの取組みを測る年次のベンチマーク評価を提供する組織である、GRESBの投資家メンバーに加盟しました。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[GRESB](#)



TNFDフォーラムへの参画

ゆうちょ銀行は、2022年9月、自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures : TNFD）フォーラムに参画しました。詳しくは、以下のページをご覧ください。

[TNFD](#)

連結子会社の状況

【JPインベストメント株式会社】



PRIへの署名

JPインベストメント株式会社は、2022年2月、国連が支持している責任投資原則（Principles for Responsible Investment、PRI）に署名しました。

[JPインベストメント株式会社](#)



インパクト志向金融宣言への署名

JPインベストメント株式会社は、2022年10月、「金融機関の存在目的は包括的にインパクトを捉え環境・社会課題解決に導くことである」という想いを持つ複数の金融機関が協同し、インパクト志向の投融资の実践を進めて行くイニシアティブである「インパクト志向金融宣言」に署名しました。

[JPインベストメント株式会社](#)